

平成21年度2回日本粘土学会評議員会議事録

日時：平成21年2月14日(土) 15:00~17:00
 会場：東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 8階806号室

出席者(順不同, 敬称略)：

岡田(清), 井上, 黒田, 山田, 渡嘉敷, 北川, 成田, 高木, 鈴木, 岡田(友), 會澤, 宮脇, 山崎, 亀島, 佐藤久, 日比野, 小暮, 上原(元), 八田, 土信田, 田村(記)

1. 報告事項

- (1) 編集：粘土科学の発行・編集状況(北川)：第48巻1号3月中に発行予定, 第48巻2号への原稿の協力要請があった。
- (2) 編集：Clay Scienceの発行・編集状況(成田)：Vol.13, No.6, Vol.14.No.1出版報告, Vol.14.No.2(2009年6月発行予定)について投稿要請があった。
- (3) 会計(山田)：中間収支状況(別紙)の報告があった。
- (4) 行事：第52回粘土科学討論会の決算報告(渡嘉敷)：沖縄大会の決算報告があった。(別添資料：第52回粘土科学討論会実施報告書)
- (5) 国際協力(山田)：AIPEA Report 20082010 American-Japan-Spain Trilateral Meeting on ClaysのOrganizing committee等の報告があった。
- (6) 企画：標準粘土(宮脇)：本年度10件の依頼があった。
ホームページ：特になし
- (7) 庶務：会員動向(山崎)：会員の動向に関して報告があった(別紙)。
・ご逝去(伊藤瑞章 名誉会員 平成20年10月31日(97歳))
- (8) 事務局：協賛, 共催(事務局 土支田) 別紙報告の通り2件。
ZMPC2009国際会議共催等の3件と, 全国共同利用共同拠点(東工大応セラ研)に対するサポートレター。
- (10) その他：
 - ・第52回粘土科学討論会優秀講演賞について
口頭発表 2件(渡辺雄二郎氏, 鈴木康孝氏)
ポスター 1件(吉澤章博氏)に決定。
 - ・JST電子アーカイブ化対象誌にClay Scienceおよび粘土科学が採択された。
 - ・粘土ハンドブック(山田)：年度内の発行予定。

2. 審議事項

- (1) 第53回粘土科学討論会は會澤委員より以下のように提案があり, 承認された。
 - ・開催会場：岩手大学 学生センター棟および人文社会科学部5号館
 - ・開催時期：9月10日(木)~9月11日(金)(見学会は

開催しない)。

- ・申し込みと講演要旨提出はWebから同時に行う(変更事項)。申し込みはJ-Stageを使って, 講演要旨はPDFで添付する。
 - ・Webの利用できない場合を考慮し, 郵送申し込みも可能である。
 - ・申し込み期間：6月23日14時~7月7日14時
- (2) シンポジウムについて岡田(友)委員より以下のように提案があり, 承認された。
 題目『粘土科学若手研究者が語る将来の夢』(仮)
 - ・登壇者は企画委員で審議して4月上旬までに決定の予定(目安：化学・材料科学系3名程度, 地球科学系3名程度)。
 - ・シンポジウムの時間は3時間半を目安(14~17時半)。
 - ・登壇者30分/1人(10分プレゼン, 20分討論), 事前に要旨を提出する。
 - ・要旨は6月前半に原稿提出, 7月~8月に配布を予定している。
 - ・要旨掲載方法(粘土科学 or 学会ホームページ)
 - ・対象：年齢に厳密な限定はないが, なるべく若い人から人選したい。若手の会へ声をかけていく。
 - ・座長に積極的な討論進行をリードしてもらう。
 - (3) 粘土討論会申し込みキーワードの再検討(岡田(友)・會澤)：

プログラム編成に利用するため, キーワードは増やしていくこととしたい旨の提案があった。例えば, 『層状複水酸化物』, 『種々の層状化合物(化合物名を記入)』の追加, 『ゼオライト・多孔質固体』への見直しなど。企画・LOCで検討し, 提案することで承認された。
 - (4) 平成21年度学会賞等募集要項案(小暮)
 - 1) 募集要項・推薦書の今年度案(詳細別紙)：学会賞等の応募, 推薦を簡略化し, 多くの推薦者を出してもらうための提案があり承認された。募集要項は粘土科学(次号), 学会ホームページ, メールにて情報配信することとした。
 - 2) 学会賞等運営内規の改正案(別紙)について：承認された。
 - (5) 社団法人日本地球惑星科学連合の加盟登録について：

鈴木委員, 山崎委員より団体会員への登録状況, 加盟による効果, 加盟費用(年1万円)などの説明があった。

 - ・地球科学分野(粘土学会)のメンバーの考え方が重要であるという意見があったが, 2月24日の理事会に意思表明する必要もあり, 一旦加盟し, 活動状況やその効果などを見極めることで今後の継続の判断をすることとした。
 - ・『環境・災害対応委員』については山崎委員に一任した。

- ・粘土学会のイベント情報の配信を連合会に依頼する。

3. その他

- (1) 将来問題検討ワーキンググループ (WG) の報告：
WG 第 1 回会議の概要 (別添：第 1 回議事録) を高木委員より報告があった。学会誌と討論会のあり方について提言があり、WG でこれらについてさらに検討する。
- (2) 名簿 (氏名, メールアドレス) の発行 (会員からの要望) について (山田)：
会員の所在等の問い合わせに関しては、会員への便宜をはかり、事務局によって対応することとする。事務局では、依頼者の住所氏名が会員のものに間違いなことを確認したのち情報の通知を行うことで承認された。本件は総会にて会員に知らせることとする。
- (3) 粘土討論会および実行委員会の正式英語名称を以下の通りとすることで承認された。
「粘土科学討論会」
“The annual meeting of the Clay Science Society of Japan”
「粘土科学討論会実行委員会」
“The organizing committee of the annual meeting of the Clay Science Society of Japan”

以上